

R 6 校内研究 生活・社会サークル

生活科・社会科の授業における
「試行錯誤しながら、粘り強く学習
に取り組む児童の育成 ～自分で考
え、自分で決める～」について

式行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

1 社会科・生活科の授業 における研究主題の目指す 児童像

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

「試行錯誤しながら

粘り強く学習に取り組む」とは

①基本を教師が提示・提案

→少しずつ手をはなしていく

②児童から課題・問いが浮かぶようになる
(変容)

③自分で学習計画を立てられるようになる

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

「試行錯誤しながら

粘り強く学習に取り組む」とは

④毎時間の振り返りから、次の時間の課題
を立てられる（修正できる）ようになる。

→失敗も、よりよい方法につなげる。

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

「試行錯誤しながら

粘り強く学習に取り組む」とは

①～④を繰り返し経験することで、

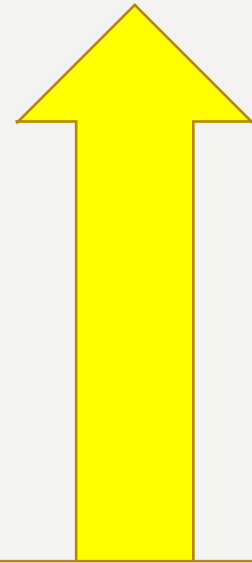
◎課題・自分の探究課題の達成に向けて、
あきらめずに取り組むことができるよう
になる。

式行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

「自分で考え、自分で決める」とは

①学習方法の選択をする。

- ・一人で
- ・友達と一緒に
- ・友達からアドバイスをもらう
- ・友達のことを参考にする
- ・教師からの支援



自分は、どの段階な
のかの把握も大切！

式行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

「自分で考え、自分で決める」とは

②いろいろな方法を経験する。

◎これをくり返すことで、自分に合った
学習方法を見つけることができるよう
になる。

その結果、学習に意欲的に取り組むよ
うになる

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

2 研究授業のまとめ (成果と課題)

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める～」

日 時：令和6年10月10日（木）第5校時

授業者：箱森 真妃

単元名：たのしいあきいっぱい
(あきのビンゴをつくろう)

自分で見つけた秋を伝える楽しさ、
友だちが見つけた秋を知る体験を、
変化する秋の特徴をクイズにして
伝え合う活動



夏と秋の比較

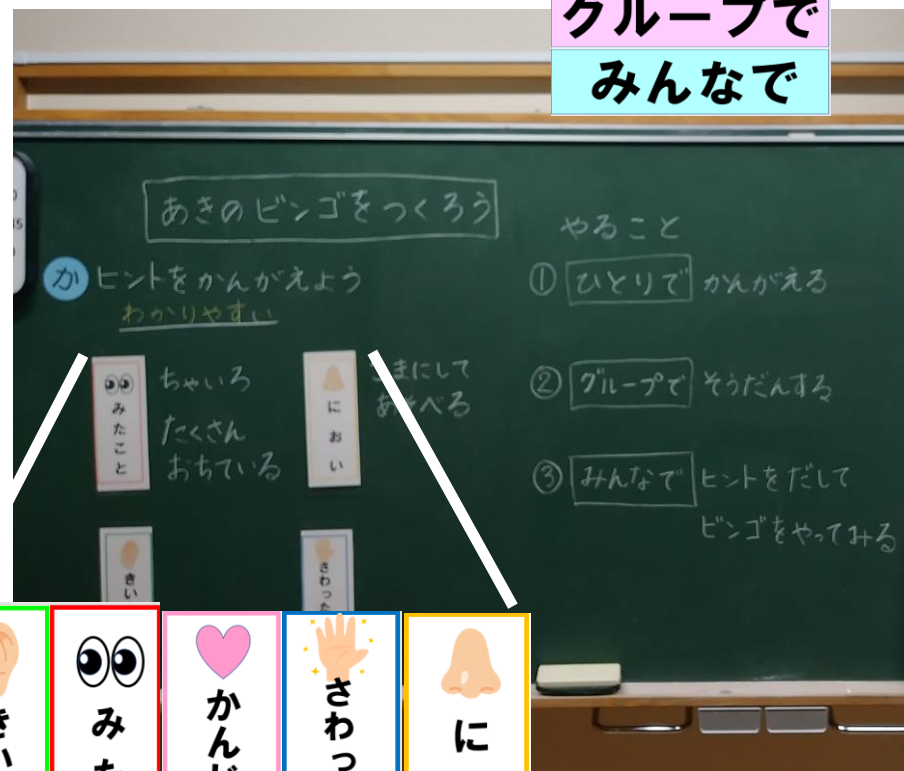


五感カード



カード

ひとりで
グループで
みんなで



あきビンゴをしよう

1年 組 なまえ

1-① そとはみどり なかはオレンジ ハロウィンとい えは	2-① くさいけど たべられる イチヨウのみ	3-① かわがあかい なかはきいろ あきのくだもの	4-① ぶつぶつした あかいみ たべられる がっこうにある おい	5-① ほしのかたちの きいろいちいさ なほながあつ まってる。いい におい
6-① ほそながくて ざらざらした おつきみにかざ るくき	7-① ちやいろとくろ のあきのむし なまごえは リンリン	8-① くきがながい はなびみないな あかいはな どくがある	1-② ハートのかたち きいろのはっぱ	2-② へたがおおき おれんじいろ あまいくだもの 9月はみどり
3-② きからおちてく るちやいろとき いろとあかのも の	4-② いがいのがなか にちやいろのき んかくのみ		5-② ぼうしをかぶっ たちやいろのみ りすがたべる	6-② あきはあかい はねがある とんでいるむし
7-② ほそながいざん いろのあきが しゅんのうみの おさかな	8-② つちのなかでそ だつ ながきいろ かわがむらさき ほくほくあまい	1-③ かわはむらさき みはうすみどり つぶつぶのくだ もの	2-③ つきをみるとき かざる まきいたべもの	3-③ そとはきみどり なかはし りんごにてる くだもの ジャリジャリ
4-③ まつぎにある ちやいろでかた いざらざらした み	5-③ あきはとしょか んにいてほん もたくさんよみ ます	6-③ そらにちいさい くもがたきさん あつまっている ○○ぐも	7-③ もりにはえる かきのかたち どくがあるもの もある	8-③ コロコロコロリ となくあきのむ し ながえさ

生活科は、すべての教科につながるため、**五感**を意識させる

教科を横断して日々の体験が重要 すべてのことが、**体験**になる！失敗はない

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成 ～自分で考え、自分で決める

日 時：令和6年10月10日（木）第6校時

授業者：高橋 美穂

単元名：自動車の生産にはげむ人々

【問いの一覧】

○基本の問い ※組み合わせる問いもある。だれがどのように～など

種類	具体例
What（～は何か）	消費者のニーズって何か
When（いつ～か）	いつから作られるようになったのか
Who（だれが～か）	だれが作っているのか
Where（どこで～か）	どこで作られているのか
Why（なぜ～か）	なぜ作られているのか（原因）
How（どのように～か）	どのように作られているのか（過程）
	どのように作られるようになったのか（変化）

小学校の社会科は



に焦点を当てる！！

★「協働的な学び」とは！？

- ①班で自分の意見を紹介し合った！
- ②自分の考えが合っているか班で答え合わせをした
- ③調べたことを班で発表した

伝え合う
喜びを味
わえた？

協働的な学びに向かうためのしが必要

共有する
ことに
よって膨
らませ
た？

次につな
がるもの
が生まれ
た？



★評価について何で見とる！？

4 本時の学習指導（8／8時）

ア 目標 これまでの学習を整理して、自動車の生産に関わる人々の動き、消費者のニーズや社会の動向に対応する工夫や努力について理解し、日本の自動車生産の特色について考える。

【 】

☆振り返りで主体

☆「この言葉を使ってまとめてみよう」で知識

☆まとめで思考

授業の構成次第で何でも見とれる

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成 ～自分で考え、自分で決める

【指導者 教育課程指導課主任指導主事高見澤先生より】

○成果

- 生活科：教科横断の流れが効果的
五感カードが見方・考え方につながっている
- 社会科：同じ構造での授業展開○
評価を意識した授業展開○
○組の学習問題 児童の実態に応じて◎

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成 ～自分で考え、自分で決める

【指導者 教育課程指導課主任指導主事高見澤先生より】

●課題 各教科共通

- ・伝えられる喜びを感じられるような共同的な学びの設定が必要
- ・何のために協働的な学びを仕組むのか、何のために協働するのかを明確にした指導計画
- ・何を評価するのかはつきりさせる

◎自分で身に付けた知識をいかして、新たなゴールへ向かうことができるような児童の育成が目標

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

3 社会科・生活科の 授業改善のポイント

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成 ～自分で考え、自分で決める

①年間・系統性を見通した計画

- ・自由進度の取り入れ方・移行の仕方
- ・低・中・高での学習方法の共通理解・積み重ね
(例　〇年生までに〇〇を指導し、次の学年では...)
- ・学年での共通指導

②まずは、学習の流れの型を教える

- ・少しずつ手をはなす
- ・自分で決める機会を増やす

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成 ～自分で考え、自分で決める

- ③学びのサイクルを回すために、振り返り（これまでの経験）から始め、次の振り返り（仮説→体験→結果）で終わられるような流れで指導計画を組み立てる。

※生活科では、個々の体験の差があるので、気づきを増やす共有が大切

※低学年では、話し合いの型ができていない
→見せ合う・伝え合う場の設定

試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成
～自分で考え、自分で決める

- ④ 社会科においても、毎時・毎単元の振り返りを大切にし、失敗も次にいかす経験を積み重ねる。



そのために、どの単元・どの段階でどう仕組んでいくかが大切！
生活科と理科・社会科の指導の系統性が大切！
例：視点を意識した声掛け、発問の精選